

## 「Save a Life」活動報告

佐藤 世一（プロジェクト代表者）

保健医療学部 看護学科 2年

### 1. はじめに

本報告では、平成 25 年度「創造性を育む学生プロジェクト」として行った「Save a Life」プロジェクトの活動結果について述べる。

はじめに、本プロジェクトの目的について述べる。次に、各イベントでの活動内容について報告する。最後に、改善点および今後の課題について述べる。

### 2. プロジェクトの目的

本プロジェクトは、救急救命法を豊橋市内をはじめ、市外や県外の方々に広めることを目的とする。意識を失っている人、出血や骨折している人と出会った場合、救急救命法の心得があるのと無いのでは大きく差がある。そういった場面で役立てるように、本プロジェクトは救急救命法を広めることを目的とし、それに伴って日本救急蘇生普及協会の方々をお招きし、Basic やインストラクターの資格習得を目指す。

### 3. 活動内容

#### 3.1. 善意フェスティバル

5/26（日）に豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）で、来場者や他の参加団体の方々に救急救命法（心肺蘇生・AED の使い方・三角巾を使った止血法や骨折などに使う固定法）を教えた。心肺蘇生と AED は人形を使い、実際にスタッフを同時進行で見ながら覚えてもらい、その後 1 人で行ってもらった（ヘルプ付き）。三角巾での止血法や固定法では、スタッフの腕や足を使ってスタッフのやり方を見ながら、行ってもらった。



図 1 三角巾による止血法指導の様子

#### 3.2. Basic・インストラクター講習会

8/3・4（土・日）に日本救急蘇生普及協会の方々の講習を受講し、Basic・インストラクターの資格習得をした。会場は豊橋創造大学で、教室を 2 部屋借りて行い、それぞれ Basic とインストラクターの受講者に分けて資格習得を目指した。それぞれの資格を手に入れるために、実技試験と筆記試験を行った。結果は、受講者は全員合格し、本プロジェクトの今後の活動に大きく役立った。



図 2 Basic の講習中の様子

#### 3.3. いきいきフェスタ

8/25（日）にライフポートとよはしの一室を使い、来場者や他の参加団体の方々に救急救命法（心肺蘇生・AED の使い方・三角巾を使った止血法、固定法・気道異物除去法）を教えた。内容は善意フェスティバルと同様の部分も多いが、気道異物除去法という新たなものを増やしてスタッフを心肺蘇生と AED、三角巾、気道異物除去の 3 つに割り振り、来客者にどれから始めるかを選んでもらえるようにした。



図 3 AED の使い方指導の様子

### 3.4. 創造祭

10/26・27（土・日）に豊橋創造大学の大学祭で教室の一室を使い、一般の方や学生に救命救急法（心肺蘇生・AED の使い方・三角巾を使った止血法、固定法・気道異物除去法）を教えた。いきいきフェスタ同様、3 つに割り振ることで効率よく救急救命法を教えることができた。子供から年配の方まで幅広い年齢層の方が訪室し、最後にお菓子や飴などの景品を渡した。



図 4 気道異物除去法指導の様子

### 3.5. 東三河ボランティア集会

2/1（土）に田原文化会館にて、会議室を借りて来場者や他の参加団体の方々に救急救命法（心肺蘇生・AED・三角巾を使った止血法、固定法）を教えた。心肺蘇生→AED→三角巾の順で教え、さ

らに今回は図やイラストなどでより分かりやすくした。また、冬場では心疾患による心停止の確率が多くなるので、今回は心肺蘇生、AED の指導に力を入れた。

### 4. 改善点・今後の課題

本報告書では、Save a Life の活動内容について述べた。この 1 年の活動を通してみると、このようにボランティアに参加する機会があまりなかった。救急救命法をより多くの人に広めるためにも他のボランティア団体とのつながりを深め、イベントの情報を手に入れることで、イベント参加の回数を増やすことができる。

今後の課題としては、救急救命法のインストラクターの資格を取りやすい環境を整えることで分かり易くできる。

### 謝辞

本プロジェクトを遂行するに当たり、当該プロジェクトについて理解くださり、ご支援くださった永井先生はじめ豊橋創造大学関係者各位に感謝申し上げます。